

# Mizuho Daily Market Report

2023/3/13

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	136.46	135.03	▲1.12	▲0.84
EUR	1.0594	1.0643	+0.0062	+0.0008
AUD	0.6598	0.6580	▲0.0010	▲0.0190
SGD	1.3546	1.3500	▲0.0033	+0.0050
CNY	6.9660	6.9172	▲0.0479	+0.0129
MYR	4.5192	4.5200	+0.0010	+0.0427
THB	35.04	35.07	+0.02	+0.36
IDR	15464	15450	+25	+150
PHP	55.15	55.14	▲0.10	+0.31
INR	82.04	82.05	+0.07	+0.08

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.699%	▲20.5 bp	▲25.3 bp
日本(10年)	0.411%	▲9.5 bp	▲9.5 bp
ユーロ圏(10年)	2.508%	▲13.5 bp	▲20.7 bp
オーストラリア(5年)	3.398%	▲10.2 bp	▲28.2 bp
シンガポール(5年)	3.255%	▲14.2 bp	▲11.0 bp
中国(5年)	2.675%	▲0.9 bp	▲5.5 bp
マレーシア(5年)	3.580%	▲9.0 bp	▲12.4 bp
タイ(5年)	2.105%	▲2.2 bp	▲9.2 bp
インドネシア(5年)	6.571%	▲2.1 bp	+1.7 bp
フィリピン(5年)	5.979%	▲6.6 bp	▲15.2 bp
インド(5年)	7.398%	▲2.4 bp	+1.4 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	31,909.64	▲1.1%	▲4.4%
N225(日本)	28,143.97	▲1.7%	+0.8%
STOXX50(ユーロ圏)	4,229.53	▲1.3%	▲1.5%
ASX(オーストラリア)	4,226.46	▲1.7%	▲2.6%
FTSTI(シンガポール)	3,177.43	▲1.2%	▲1.7%
SSEC(中国)	3,230.08	▲1.4%	▲3.0%
KLSE(マレーシア)	1,433.08	▲1.1%	▲1.4%
SETI(タイ)	1,599.65	▲0.9%	▲0.4%
JKSE(インドネシア)	6,765.302	▲0.5%	▲0.7%
PSE(フィリピン)	6,589.88	▲0.3%	▲1.0%
SENSEX(インド)	59,135.13	▲1.1%	▲1.1%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	264.99	+0.1%	▲3.7%
金	1,868.26	+2.0%	+0.6%
原油(WTI)	76.68	+1.3%	▲3.8%
銅	8,847.00	+0.2%	▲1.2%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	133.50	—	135.50
EUR/USD	1.0550	—	1.0710
AUD/USD	0.6500	—	0.6700
USD/SGD	1.3450	—	1.3590
USD/CNY	6.9000	—	6.9600
USD/MYR	4.4800	—	4.5300
USD/THB	34.50	—	35.10
USD/IDR	15300	—	15580
USD/PHP	55.10	—	55.80
USD/INR	81.50	—	83.00

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:  
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel. 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間のドル円は136円台前半でオープン。前日から続くイベント前の調整売りから軟調推移となり、一時135円台後半まで下落。売りが一服すると136円近辺で動意を欠いた推移が続いていたが、正午前に日銀金融政策決定会合の結果が、おおむね政策の現状維持であることが発表。発表直後は円売りで反応し、一時136円台後半まで上昇したものの、米雇用統計を控えていることもあってか勢いは続かず。その後は同水準で方向感なく推移し海外時間に渡った。

アジア通貨はまちまち。前日の米経済指標や効率的なパウエルFRB議長の発言を受けて、やや軟調に推移。

海外時間のドル円は欧州時間に136円台前半まで下落するも、米金利上昇に支えられ136円台後半まで値を戻して米州時間へ。米州時間朝方に発表された米2月雇用統計の発表では非農業部門雇用者数が予想を上回ったものの、失業率は予想以上に悪化したほか、平均時給も予想を下回り、賃金インフレ減速の見方が示され、ドル売りで反応。その後米地銀の経営破綻の影響を受け、米長期金利低下に伴いドル売りが加速しドル円は134円台前半まで下落。売りを巡り、ドルは買い戻され135円台前半まで戻す。午後は週末を控え、狭いレンジでの推移が続く、135円台前半でクローズ。

## 【金利】

米債利回りは大幅低下。米州時間朝方の雇用統計においては、非農業部門雇用者数は強めの結果となった一方、失業率の悪化などがFOMCの利上げ再加速への思惑をそいだことから短期債利回り主導でブルスティープ化。本日は米地銀における破綻の報もリスクオフ材料となり債券は買われた。米10年債利回りは3.7%を下回る水準まで低下。金利先物におけるターミナルレート見通しも5.3%を下回った。

## 【予想】

本日のドル円は軟調な値動きを予想。先週末に報道された米地銀破綻の影響が今後さらに広がることを予想され、米金利低下・ドル安の流れとなることを予想。

## 【本日の予定】

(日本) 1Q 景況判断BSI大企業全産業  
(アジア) 1月 マレーシア 製造業基本売上高 / 鉱工業生産  
(アジア) 2月 NZ ハフォーマンス・サービス指数  
(アジア) 2月 NZ 食料品価格  
(アジア) 2月 インド CPI  
(欧州) 2月 キリジャ CPI  
(欧州) ユーロ圏財務相会合(ブリュッセル)  
(欧州) 独 国債入札(6M)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。